

調査速報

タイ自動車市場月次統計 (2016年11月)

2017年タイ自動車生産台数は197万台と16年比微増を予測：国内で買い替え需要増加も輸出減速が逆風に

主任研究員
深尾 三四郎
045-225-2375
fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2016年11月国内生産台数(季調値)は年率193.4万台。16暦年予測は196万台と200万台割れする公算。
- 同月の輸出台数(季調値)は117.1万台。16年予測は120万台弱と過去最高の15暦年実績を若干下回る。
- タイ工業連盟の17年国内生産台数予測は200万台。輸出環境の厳しさ踏まえ、浜銀総研予測は197万台。

2016年国内生産台数は200万台に一步及ばない状況

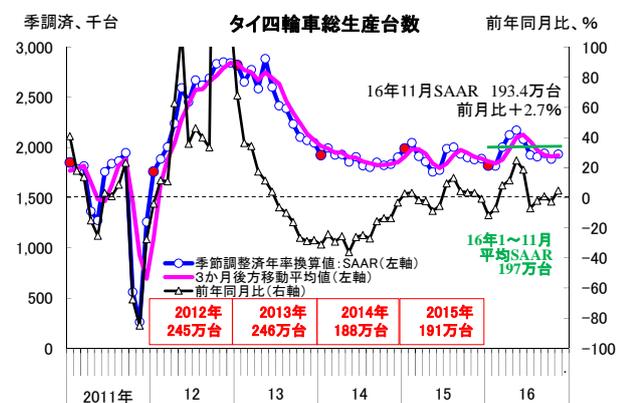
タイ工業連盟(Federation of Thai Industries:以下、FTI)が発表した2016年11月の四輪車総生産台数は、前年同月比4.7%増と前年超えし、季節調整済年率換算値(当社試算、以下SAAR)も前月比2.7%増の193.4万台と増加した。3か月後方移動平均値でみたトレンドは7月以降、減少基調が続いていたが、11月は久方ぶりに微増となった(図表1)。10月13日のタイ・プミポン国王薨去に伴う、消費マインドの低下や販促活動の自粛により、10月以降は国内販売が減速しているが、輸出増強で国内生産の底割れを免れている状況だ。16年1~11月の生産台数の平均SAARは197万台となった。11月の国内生産のSAARが12月も続いたとすると、16暦年の国内生産台数は196.4万台となり、前年実績(191万台)は上回るものの、残念ながら200万台レベルには届かない状況である。

11月の総輸出台数は前年同月比3.1%減と5か月連続で前年割れとなり、SAARも前月比3.9%減の117.1万台と120万台を下回った(図表2)。国王が薨去した10月以降、内需減少を抑えるために輸出生産を強めていると推察するが、中近東やアフリカでの景気悪化と南米の景気低迷などを背景に、新興国向けの輸出の弱さが引き続きタイの自動車輸出に強い逆風となっている。16年1~11月の輸出台数の平均SAARは120万台と前年実績と同水準となっている。11月の輸出台数のSAARが12月も続いた場合、16暦年の輸出台数は119.6万台となり、過去最高を記録した15暦年実績から微減となる見通しである。

11月の国内販売台数は前年同月比15.2%減と2か月連続で2桁%の減少となり、SAARも前月比2.3%減の72.5万台と4か月連続で減少した(図表3)。国内販売のSAARは2か月連続で70万台前半の水準にまで落ち込んでいる。11月の消費者信頼感指数は2か月連続の下落となっており、消費ムードの減退が国内販売の足かせ要因のひとつとなっていよう(図表4)。16年1~11月の国内販売の平均SAARは76万台となっている。11月の国内販売台数のSAARが12月も続くとなると、16暦年販売台数は76.1万台となり、4年連続の減少となろう。

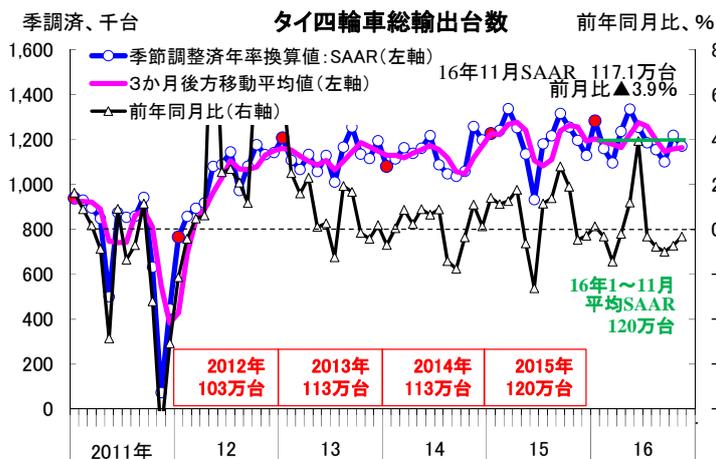
12月21日、FTIは2017年のタイの国内生産台数が200万台、国内販売台数は80万台、輸出台数は120万台と予測した。17年の増産(16年FTI予測195万台)の主因は国内販売の増加としているが、5年前にインラック政権によるFirst Car Buyer Programme(初回購入者に一部税還付する自動車購入奨励策)で購入された車の買い替え需要が、国内販売を持ち上げることを前提としている。弊社では足元の輸出環境の厳しさを踏まえ、輸出台数が前年割れするとみており、現時点で17年国内生産台数は197万台、国内販売80万台、輸出台数117万台と予測する(図表5)。

図表1 16年国内生産は200万台割れの公算



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表2 輸出台数 (SAAR) は前月比で減少



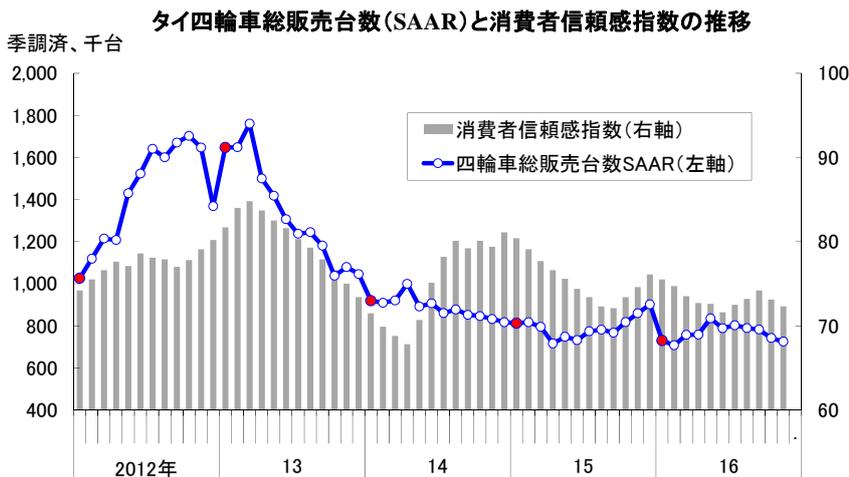
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表3 国内販売 (SAAR) は減少基調続く



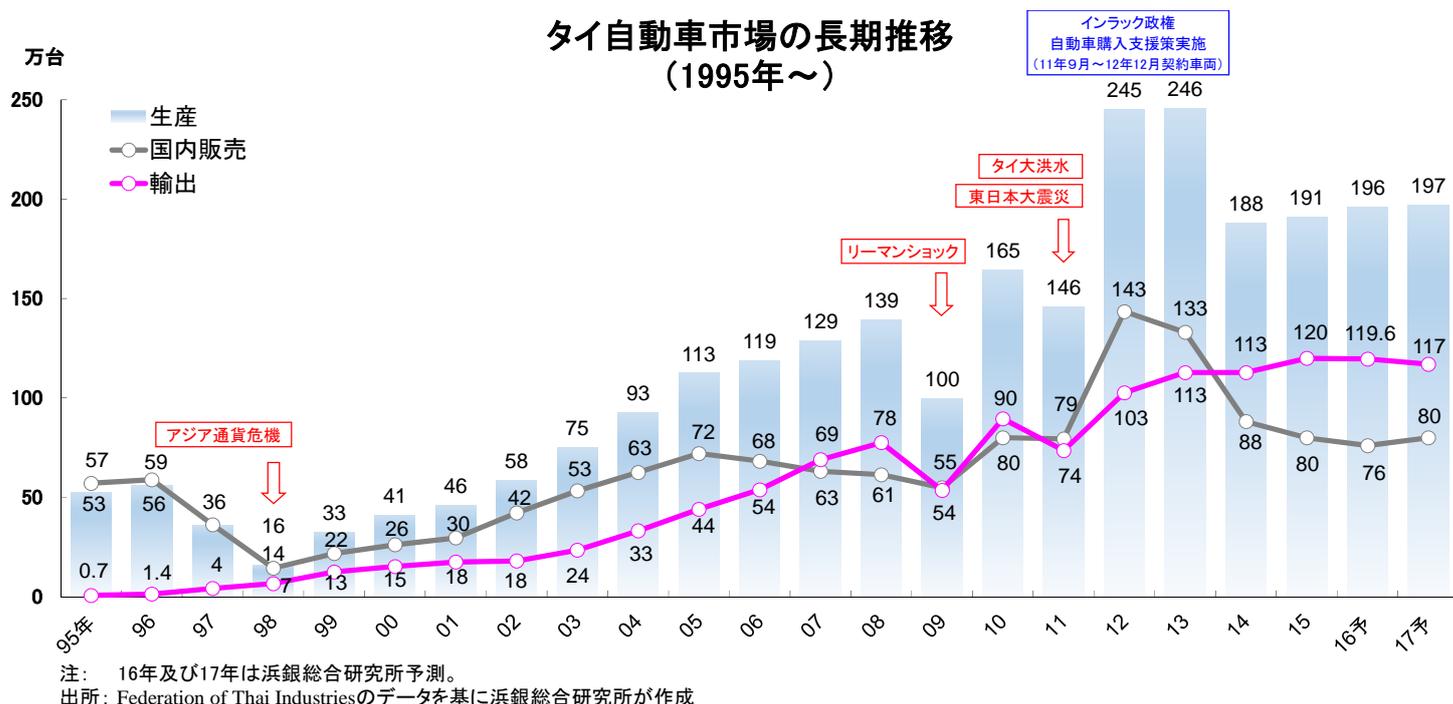
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表4 消費者信頼感指数は2か月連続で下落



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Federation of Thai Industries、University of the Thai Chamber of Commerceのデータを基に作成

図表5 浜銀総研は2017年国内生産台数を197万台と予測



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。